

平成25年度第5回東京都食品安全審議会検討部会での  
主な質問・意見及び検討資料等への反映

(平成26年3月28日開催)

東京都食品安全推進計画の改定に向けた考え方について

<全体に関すること>

	意見	検討資料等への反映
1	新しい基本施策、重点的・優先的に取り組む施策を検討する過程において、過去のトレンドがそのまますり変わっているような印象がある。社会の変化に対する認識を持った上で、もう少し思い切った、あるいは斬新的な施策を検討していただきたい。	新しい基本施策（資料2）において、国際動向を踏まえた自主管理、世界への情報発信等の社会の変化に対する施策を明記しました。
2	基本施策と食品に関する事件、事故、最近の動向、法令関係の動向あるいは社会環境の変化等がどのように対応しているのか、分かりやすく説明していただきたい。	重点的に取り組む施策の考え方（資料4）において整理しました。
3	計画を作成する際には、都が国をリードするような施策も盛り込んでいただきたい。 例) 健康食品対策について、リスクコミュニケーションを含め、自治体としての認識を持って対応していただきたい。	
4	オリンピック対策との繋がりも考慮して計画の内容を検討していただきたい。 例) 外国人に向けた食品に関する情報提供 日本（都）の食の安全について外国人に対してアピールするような施策を盛り込んでいただきたい。	食品安全推進計画改定の基本的な考え方（資料2、4）において、案を提示しました。
5	食品安全条例では、計画の基本理念として「都、事業者、都民の相互理解と協力に基づく安全確保」を掲げているが、実際は都民・消費者が受身的な位置に置かれている印象を受ける。今後は、さらに一歩進んで理解を得た上で、相互に協力できる状況を作ることが必要ではないか。	重点的に取り組む施策の考え方（資料4）において整理しました。

<施策の柱1 「事業者責任による食品の安全確保」に基づく施策>

	意見	検討資料等への反映
1	事業者の自主管理に関する制度は様々あるが、各制度の仕組み、レベル等を整理して、事業者に普及していただきたい。	基本施策である事業者に対する技術的支援の中で具体的に対応していきます。

2	これまで都が進めてきた施策とその成果について追記していただきたい。	参考資料として平成 25 年度までの実績を添付しました。
3	(資料 5 No. 1 について)「環境に負荷をかけない生産技術の振興」とあり、環境に負荷をかけない取組は重要である。	ご意見として伺いました。

### <施策の柱 2 「生産から消費までの一貫した未然防止・拡大防止」に基づく施策>

	意見	検討資料等への反映
1	<p>【フードディフェンスについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フードディフェンスを含めた危機管理体制について、内容の強化を検討していただきたい。</li> <li>・人材育成、食育等の問題についても考慮していただきたい。</li> <li>・迅速な回収のサポート体制を構築していただきたい。</li> <li>・緊急事態が発生した場合の対応や相談方法について、行政側から事業者に対して発信する必要があるのではないか。</li> </ul>	自主管理、健康危機管理体制の整備の具体策の中で検討していきます。
2	食品中の放射性物質の問題について、現状の放射性物質に関する認識を整理した上で、対策を検討していただきたい。	重点的に取り組む施策の考え方(資料4)において整理しました。

### <施策の柱 3 「関係者による相互理解と協力の推進」に基づく施策>

	質問・意見	検討資料等への反映
1	景品表示法等、今後5年の間に予定されている食品衛生に関する法律の公布・改正の動きを鑑みながら、計画を検討していただきたい。	重点的に取り組む施策の考え方(資料4)において整理しました。
2	景品表示法改正に伴い、今後は地方自治体において措置命令が出せるようになるかと聞いている。健康食品対策について、都は他の自治体に率先して実施してきたが、普及啓発を含め、改正後も率先して取り組んでいただきたい。	
3	今後5年の間に食品表示に関する法律が大きく変わると聞いている。その内容について、事業者及び消費者の学びの場を提供していただきたい。	
4	(BSE関連のように)今後の新たなテーマに対して、丁寧なリスクコミュニケーションを実施していただきたい。また、現在実施しているリスクコミュニケーションについても、さらに活発化・強化していただきたい。	
5	(資料5 No. 30 について)「表示指導」という言葉が出てくるが、今回の景品表示法の改正等を踏まえ、「監視指導」として監視の部分も強める姿勢を示す方がよいか。	

<その他に関する事>

	質問・意見	検討資料等への反映
1	食品のリスクを客観的に比べて、リスクの高い順番に政策を実施していくことが重要と考える。例えば、その判断の材料となる定量的なデータを提供していただきたい。 例) 健康被害の原因別件数、東京都自主管理認証制度の取得効果	参考資料として、東京都食品安全情報評価委員会における報告・検討事項、東京都の食中毒概要を提供させていただきました。